

松浜市の歴史や魅力を知って市に行ってみませんか？

松浜小学校の  
子どもたちがデザイン！  
看板が目印です！



**松浜市ができるまで**  
地域に愛着をもって来る人が増えてきたことをきっかけに、明治六年、阿賀野川を埋め立ててできたのが今の新屋敷。ここに来るお客さんをめあてにして、道路で売っていたことをきっかけに、松浜市ができました。市が開かれた年は不明ですが、明治九年には現在と同じ、月に六回開催となっていたと言われています。松浜市場の魅力は、四季を通じて、衣料品・海産物・青果物・切花などが並び、地域の台所として親しまれていることです。濁川や豊栄の地場野菜のほか、松浜漁港が近くにあるので、鮮魚・海産物も豊富なことや旬の野菜や果物など近郷農家の方々が出店していることも魅力です。

# まつはまいち 松浜市新聞

令和7年3月発行

【制作】  
松浜小学校6年総合  
松浜市チーム  
新聞担当

真菜花  
いろは  
はな花  
緩四郎  
幸四郎  
結翔  
龍煌

現在のように、  
お店が地域になかったため、  
昔は日用品や家具など生活に  
必要なものが全て市に  
そろっていたそうです！



## どのくらいお店があるの？

昔は三百軒ほどのお店が立ち並んでおり、必要なものは全て松浜市で揃っていました。松浜市で、主に売られているのが、鮮魚・海産物などです。二千七ごろはまだ市に賑わいがありました。今、人口が減っていたり、周りにお店ができたり、お店の人の高齢化が進んでいたり、様々な理由で出店している軒数が少なくなりました。それでも、今も六十軒くらい出店しているそうです。松浜市には、「こらっせ」というイベントがあります。「こらっせ」では、キッチンカーや地元の人気料理店のお弁当などが売られます。イベントによっては風船をもらえるときがあり、子ども達にも評判です。

## 魅力やお店の人の思い

松浜市には季節折々の品揃えが豊富な店が並び、その近くには、採れたての野菜を持ち込んだ地元農家の店などが並んでいます。松浜市場の特徴は、松浜漁港が近くにあるので、海産も多いことです。特に有名な特産物は、「ヤツメ」「アカヒメ」「サケ」「シジミ」です。松浜のシジミは身が大きく、食べ応えがありとても美味しいのが特徴です。店を出している人の中には、常連の人と喋ったりするのを楽しみにしている人もいます。お店をやっているの嬉しいのは、たくさん品物が売れた時で、どんなものを売っているのか話しながら呼び込みをしているそうです。

【日にち】2と7のつく日 (2・7・12・17・22・27)

【時間】8時～12時ごろ

【場所】新潟市北区松浜本町4丁目13

売っているものは新鮮で安く、お店の人も優しく明るい！  
地域で松浜市を盛り上げていきましょう！

